

もう一度ルートを探索する

再探索メニューを表示する

現在地メニューから **再探索** を選ぶ



● 再探索メニューが表示されます。



- ルートの探索条件を変更する (☞ 右記)
- 現在のルートを迂回したいとき (☞ 79ページ)
- 案内する道路を誤って認識したとき (☞ 79ページ)
- ルートを変更して再探索する (☞ 79～85ページ)

ルートの探索条件を変更する

現在、案内されているルートの探索条件と異なる条件で探索することができます。

- 経由地、通過点 (☞ 82ページ)、入口/出口ICの指定 (☞ 84ページ) が設定されている場合は、次の地点までのルートが対象です。(他の区間の探索条件を変更するには ☞ 85ページ)

再探索メニュー (☞ 左記) から探索条件を選ぶ



おまかせ : 有料道路/一般道路の使用を自動で判断したルート。*

有料優先 : 有料道路を優先して通るルート。*

一般優先 : 一般道路を優先して通るルート。*

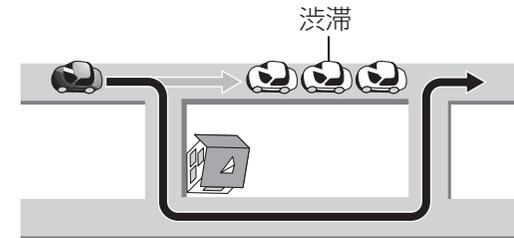
距離優先 : 距離が短くなるようなルート。

別ルート : 現在の探索条件で別のルート。

* **渋滞** 表示時 (渋滞データバンク探索「する」に設定時 ☞ 204ページ) は、渋滞データバンク探索されます。

現在のルートを迂回したいとき

途中で渋滞が発生した場合、それらを迂回するルートを探索できます。<周辺迂回探索>



再探索メニュー (☞ 78ページ) から周辺迂回を選ぶ



お知らせ

- ルートによっては、迂回できない場合があります。
- 迂回する距離は、約2 km以内です。距離を設定することはできません。

案内する道路を誤って認識したとき

有料道路と一般道路が並行しているときは、道路を取り違えてルート案内をすることがあります。(例: 自車が有料道路を走行中なのに自車マークは一般道路を走行中と表示されている場合など) このような場合に、地図のマッチングを手動で切り換えて、再探索できます。

- 対象は、異なる道路種別で隣接している並行な道路のみです。

一般道路を走行中に有料道路の案内をした場合 再探索メニュー (☞ 78ページ) から一般道から探索を選ぶ

再探索メニュー (☞ 78ページ) から

有料道から探索を選ぶ



- 道路を切り換えて再探索します。

ルートを変更して再探索する

ルートを詳細に設定して再探索することができます。

1 再探索メニュー (☞ 78ページ) からルート変更を選ぶ



- ルート変更画面が表示されます。

2 ルートを変更する



- 経由地・目的地を編集する (☞ 80、81ページ)
- 通過点を編集する (☞ 82、83ページ)
- 入口/出口ICを編集する (☞ 84ページ)
- 探索条件を変更する (☞ 85ページ)
- 季節規制区間を回避する (☞ 85ページ)

3 探索開始を選ぶ



4 案内開始を選ぶ



- ルート案内を開始します。

お知らせ

- おでかけプラン (☞ 65ページ) のルートを変更すると、出発地に設定した地点を消去して、現在地からルートを探します。
- ルート確認画面 (☞ 77ページ) から **ルート変更** を選んでも、ルートを変更できます。